

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主体	事 業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	鈴木 仁	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	佐藤幸生	0186-22-0457	八幡平ドラゴンアイ魅力発信強化事業	八幡平ドラゴンアイを多様な媒体でPRすることにより、認知度を高め、十和田八幡平地域への誘客につなげる。	268,920	直営	① 八幡平ドラゴンアイ発信局によるPR(通年) ② タベストリによるPR 場所 八幡平山頂レストハウス他2カ所 期間 5月～10月	県	観光客	平成31年4月1日	ホームページによる発信やタベストリ設置により、八幡平ドラゴンアイに対する関心を高めることができ、国内外からの誘客につながった。	・観光コンテンツとしての磨き上げ、魅力発信を継続し、関心を引きつけ、誘客につながる取組を展開していく。
						平成31年4月1日～令和2年3月31日							令和2年5月20日		
総務企画部	鈴木 仁	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	佐藤幸生	0186-22-0457	かづの牛を使った新たな特産品開発事業	かづの牛を使い、観光客等が手軽に食べられる新たな特産品を開発することにより、地域におけるかづの牛の消費及び観光誘客を拡大することを目的とする。	229,680	委託	① 新たな特産品の開発 レシピ調整及び加工事業者の調整等を実施 ② 道の駅での試食 実施 12月24日～29日 場所 道の駅おおゆカフェ 数量 100個	県、(株)恋する鹿角カンパニー	観光客	平成31年4月1日	・レシピの調整及び試作品の試食により、かづの牛を使った新商品としての可能性を検証することができた。	・事業者による商品化を働きかけるとともに、販売時の支援に取り組む。
						平成31年4月1日～令和2年3月31日							令和2年5月20日		
農林部	長谷部毅	農業振興普及課	企画・振興班	小野寺徹	0186-23-2123	鹿角産にんじんによるジュース加工の可能性検証事業	鹿角地域の秋にんじんは県内で唯一、まとまった面積で栽培されているが、生食用としての需要が少ない重量過多の規格外品が一定量発生することから、この規格外品の活用を図るため加工用途の可能性を検討する。	212,832	直営	① 原料の資質評価(12/13) 重量・外観品質とも加工上の問題なし。 ② 搾汁試験(1/8～9) 原材料400kgに対し搾汁液200kgを得られた。 評価:「今後の商品開発に期待できる」 ③ 職員等(52名)を対象にした官能評価(3/10～13) とろみ、色、甘味、うま味で評価が高かった。	県	にんじん生産者	平成31年4月1日	① 加工原料としての評価が得られ、生食用品種の加工用途の可能性が見いだされた。 ② 鹿角市のにんじん生産法人と加工業者(大仙市)との橋渡しができた。	・にんじん生産者と加工業者のマッチングを支援し、加工品の商品化に向けた取組をサポートする。
						平成31年4月1日～令和2年3月31日							令和2年5月20日		
農林部	長谷部毅	森づくり推進課	林業振興班	本間定寿	0186-23-2275	令和の森林・林業を知ってみませんか	県土の保全や地球温暖化防止など多くの機能を有している森林を健全に育て次の世代に引き継いでいくため、森林体験を通じて、広い世代に森林整備の必要性をアピールする。	132,122	直営	小中学生の親子を対象に、高性能林業機械の作業見学、操作体験及びキノコの植菌体験を実施 実施日 9月28日 場所 鹿角市十和田大湯の民有林ほか	県	小中学生の親子	平成31年4月1日	・危険、汚いなどいわゆる3Kのイメージが強い林業のイメージチェンジと、森林が人々に与える様々な恵みについて、児童生徒に体験してもらうことができた。	・小中学校のキャリア教育や職場体験等を通じ、森林の重要性を訴えるとともに林業のイメージ向上を図り将来の担い手確保につながる取組を行っていく。
						平成31年4月1日～令和2年3月31日							令和2年5月20日		